

泉北 6 区先端緑地(港湾緑地)における官民連携による魅力向上に向けた
サウンディング型市場調査質疑について

質問・回答

整理番号	質問	回答																								
1	賃借の年限設定はあるのでしょうか。	最大 30 年以内となっています。																								
2	貴庁に整備頂ける内容をご提示頂けないでしょうか。(例えば、トイレや駐車場、対象緑地の南西側の盛土の整地（平地の拡大）等）	第1回サウンディング型市場調査(令和7年4月公表)、その後の調査提案者との対話及び本件調査、その後の提案者との対話等を踏まえて府として整備する内容を検討することとしているため、申し訳ございませんが、現時点で提示することはできません。																								
3	干潟の一部埋め戻しは可能でしょうか。	本緑地では、人や生物にとって良好な海辺環境を創出することを目的に干潟を整備していることから埋め戻しは不可ですが、水面利用等については、今後協議によるところとなります。																								
4	貴庁が考える供用開始のスケジュールをご提示頂けないでしょうか。	スケジュール（予定） 令和8年度 <table><tr><td>8月～9月</td><td>サウンディング型市場調査</td></tr><tr><td>10月頃～</td><td>提案者との官民対話 公共整備内容の検討</td></tr></table> 令和9年度 <table><tr><td>～8月頃</td><td>提案者との官民対話</td></tr><tr><td>6月～2月</td><td>公共整備の設計業務</td></tr><tr><td>9月頃～</td><td>募集要項(案)作成</td></tr></table> 令和10年度 <table><tr><td>5月頃</td><td>事業者公募開始</td></tr><tr><td>6月～2月</td><td>公共整備の工事</td></tr><tr><td>8月頃</td><td>事業者選定</td></tr><tr><td>10月頃</td><td>(事業者)港湾環境整備計画の申請</td></tr><tr><td>1月頃</td><td>港湾環境整備計画の認定</td></tr><tr><td>2月頃</td><td>事業用定期借地権契約等の締結⇒ (事業者)施設整備着手</td></tr></table> 令和11年度 <table><tr><td>10月頃</td><td>供用開始</td></tr></table> ※ スケジュール(予定)は、現時点において各手続等が順調に進んだ最速のイメージです。	8月～9月	サウンディング型市場調査	10月頃～	提案者との官民対話 公共整備内容の検討	～8月頃	提案者との官民対話	6月～2月	公共整備の設計業務	9月頃～	募集要項(案)作成	5月頃	事業者公募開始	6月～2月	公共整備の工事	8月頃	事業者選定	10月頃	(事業者)港湾環境整備計画の申請	1月頃	港湾環境整備計画の認定	2月頃	事業用定期借地権契約等の締結⇒ (事業者)施設整備着手	10月頃	供用開始
8月～9月	サウンディング型市場調査																									
10月頃～	提案者との官民対話 公共整備内容の検討																									
～8月頃	提案者との官民対話																									
6月～2月	公共整備の設計業務																									
9月頃～	募集要項(案)作成																									
5月頃	事業者公募開始																									
6月～2月	公共整備の工事																									
8月頃	事業者選定																									
10月頃	(事業者)港湾環境整備計画の申請																									
1月頃	港湾環境整備計画の認定																									
2月頃	事業用定期借地権契約等の締結⇒ (事業者)施設整備着手																									
10月頃	供用開始																									
5	対象緑地の南西側に“レストラン「海と窓」”がありますが、こちらは営業年限等はあるのでしょうか。	毎年度、契約更新を行っています。年限は特にありません。																								

整理 番号	質問	回答
6	「海辺において府民や港湾内事業者が自然に親しみ、憩える水際空間を形成するとともに、人や生き物にとって良好な海辺環境を創出する」という目的が掲げられていますが、可能であれば、それを実現するために管理者として考えられた基本的な計画についてご教示ください。	別途添付している「計画平面図」をご参照願います。
7	この地区については、ロケーションとして魅力のある地区だと考えておりますが、駅、中心市街地からのアクセスも悪く、当該地の魅力向上のしかけが不可欠と考えております。 民間事業者にとって、持続的に維持管理、賑わい創出するためには、初期投資の負担が大きくなるとその回収が困難となることから、管理者さまによる、臨港緑地の基本的な機能を確保する基盤整備に係る費用負担が、今回の事業成功のポイントだと考えています。 例えば、 ・ 利用者の安全確保に必要な施設 ・ トイレ施設及びその設置に必要な水道、下水道などのインフラの引き込み ・ 照明施設 ・ 樹木 等 につきましては、役割分担、負担等について協議させていただきますでしょうか。	本件調査における個別対話（及び事業提案していただいた場合は、その後の官民対話）にて協議させていただきます。
8	現況の生き物の生息状況(どのような野鳥の飛来が確認されているのか。干潟に生息する水生生物など)について、ご教示ください。 また、日本野鳥の会メンバーの方々とのワークショップの実績、その概要等の内容、成果などについて、ご教示ください。	生物の生息状況について ・ 野鳥では、トウネンやチュウシャクシギ等渡り鳥の飛来が、干潟では、貝やカニ、ゴカイ等の生息を確認しています。 ワークショップについて ・ 近年ワークショップは、開催しておらず毎年5月頃に「自然環境調査」という形で当該緑地へ飛来する野鳥の観測を行っています。また、昨年度には「人工干潟生物調査」を実施しています。

整理 番号	質問	回答
9	大阪臨海線と先端緑地を結ぶ、小松緑地及び助松緑道の現在の管理形態及びその水準について、ご教示ください。	小松緑道及び助松緑道の維持管理につきましては、月 2 回程度の清掃を実施するとともに、年 1 回の除草及び剪定を行っています。 また、定期的な巡視を実施し、施設の状況確認や安全確保に努めるなど、利用者が安全に利用できる水準の維持管理を行っています。
10	干潟と海がヒューム管で繋がっているとのことですが、実際に海の干満により、水の循環が確保され、水質差がないことはどのように確認されていますか。	大阪港湾局では干潟での水質検査は実施していませんが、本干潟はヒューム管で海と繋がっており海水が行き来できるような構造となっていますので、干潟の水質については近傍の海域の水質が記載されている「大阪府環境農林水産部環境管理室環境保全課環境監視グループ」のホームページを参考にいただければと思います。 <u>大阪湾の水質速報（令和 8 年度）／大阪府（おおさかふ）ホームページ [Osaka Prefectural Government]</u>
11	今回造成計画平面図の PDF データが提示されていますが、この図面の CAD データ及び敷地内の排水計画などの関係施設の情報について、ご提供いただけますでしょうか。 また、干潟の水位も確認したいので、標高値（レベルがわかるもの）もご教示ください。	CAD データの提供について 別途添付している「造成計画平面図」、「排水計画図」より、ダウンロードください。 標高値について 水準点：H22-14 位置：泉大津市なぎさ町 1 丁目地先 （なぎさ新橋南詰東側近傍/新川護岸部分） 標高値：T.P.+4.183m(o.p.+5.514)
12	海での釣り等のアクティビティを考えたときに、必要な安全対策等の基本的な考え方や、課題等についてご教示ください。	当該施設は、「海での釣り等のアクティビティをすること」を目的に整備した施設ではありません。現状、施設海側の護岸には消波ブロックが設置されているため、安全対策上の課題があります。